

7月6日 全校朝会のお話

いよいよ7月になりました。7月といえば、もうすぐみんなが楽しみにしている大きな行事があります。何の日か分かりますか？そうです、明日7月7日は「七夕(たなばた)」です。今日は七夕について、いろいろなお話をします。

春日小学校では、1年生の教室から元気な「たなばたさま」の歌声が聞こえてきました。また、今年も春日町南地区区民館の館長さんが、立派な笹を届けてくださり、1年生の皆さんが短冊に願いを書きました。今年は気温が上がらず雨の日が多いので、「プールに入れますように」と書いてくれた子がいました。また、サッカーワールドカップが行われているので、「サッカー選手になりたい」と書いてくれた子もいました。

さて、ここで、皆さんに1つクイズを出します。

七夕の日に短冊に願いを書いて、笹の葉に付けると願いが叶うと言われています。どうして笹の葉に願い事を飾るのでしょうか？

- 1 笹は、パンダが大好きだから
- 2 笹は、まっすぐ、ものすごい速さで天に向かって伸びるから
- 3 笹は、葉っぱがサラサラといい音がするから

正解は……「2番の、まっすぐ天に向かって伸びるから」です。

竹や笹は、冬の寒い日でも青々としていて、とても強い植物です。そして、天に向かってまっすぐ伸びることから、「みんなの願い事が天まで届きますように」という気持ちを込めて、笹の葉に飾るようになりました。

ところで、2年生から6年生の皆さんは短冊に願い事を書くとしたら、どんなことを書きますか？「ゲームがほしい」「美味しいものが食べたい」という願い事もよいですが、七夕の願い事には、もともと「習い事や勉強が上手になりますように」という、自分の力を高める願い事を書くのが始まりだと言われています。「漢字がもっと得意になりますように」「逆上がりができるようになりますように」「友達に優しくできますように」など、得意になりたい、できるようになりたいという願いも素敵だと思います。

最後に今日の給食では七夕汁が出ます。どうして七夕汁というのか、給食だよりに書いてありました。七夕では、そうめんを食べる風習があります。そうめんを、織姫が機織り(はたおり)の際に紡ぐ糸や天の川に見立てて食べるそうです。七夕汁にはそうめんとお星様のかまぼこが入っています。ぜひ、織姫が糸を紡ぐ様子、天の川を思い浮かべながら七夕汁を食べてみてください。

校長先生もみんながプールに入れるように、短冊に書こうと思います。お話を終わります。